

平成26年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	土木学会新潟会「土屋雷蔵賞」	事業経緯	継続	実施体制	協力	担当所属	企画部
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	表彰活動支援事業			事業区分	表彰、コンクール

1. 事業目的

公益社団法人土木学会関東支部新潟会では、産・官・学の情報交換を図り、多様化する土木技術の実情を把握するとともに、より一層の技術の向上を目指す目的で、毎年、研究調査発表会を開催している。

本賞は、新潟地区の土木工学に係る学術・技術の進展に尽力、土木事業の発展に寄与された故 土屋雷蔵工芸博士を称え制定した制度で、地域を支える土木技術者を育成することを目的に、研究発表会の優秀講演者を表彰する。

2. 事業実施体制

主催：(公社)土木学会 関東支部新潟会

協力：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

◆平成26年度研究調査発表会概要

日時：平成26年11月5日(水) 9:30～18:00

会場：ハイブ長岡(新潟県長岡市内)

プログラム：

- ・セッション(課題発表) 7部門160課題
- ・コンクリート討論会「新潟のインフラをまもる PART2」

◆土屋雷蔵賞概要

対象者：論文内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れた者
 選定方法：各セッションの司会者がそのセッションでの講演者を評価
 その評価に基づいて若干名の受賞対象者を決定
 別途「規定」「内規」に基づき選定

* 新潟会ホームページ及び研究調査発表会論文集にて賞の概要と受賞者を公表する。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

本賞は、平成11年度第17回研究調査発表会より始められ、平成25年度までに計69名が受賞している。

故 土屋雷蔵 博士は、旧建設省技官として北陸の地に勤務した。全国有数の交通量を誇る全線立体構造の新潟バイパスを構想段階から牽引し、地域特有の雪に強い道路づくりを推進するなど、先見性と実行力に優れた土木技術者である。

その名を冠した表彰制度は、産官学の若手研究者・技術者の調査研究を推進・奨励し、地域を支える土木技術者を育成することに大きな意義を持っている。

新潟会HPでの概要掲載

HP・論文集での受賞者公表

賞の紹介

応募者の功績審査を行い、採択には適宜に執筆を依頼させていただきます。

- 論文採否
- 論文原稿
- 原稿の品質
- 原稿の品質
- 原稿の品質
- 原稿の品質

2014年9月25日(水)

お申し込み用紙、または、即日起至原稿をPDF形式で持参し、電子持帰してください。なお、原稿は土木学会関東支部新潟会事務局に送付し、当日事務局よりご連絡いたします。提出する際、原稿の品質、採否、採否理由等について、執筆依頼時にお知らせいたします。

■ その他

(1) 発表会当日は、パソコン/用紙が使用できます。なお、発表会場には液晶プロジェクタは設置してありますが、パソコンは設置していません。ノートパソコン等は各自ご準備ください。また、採否に関することについては、事務局よりご連絡いたします。

(2) 1999年度より土屋雷蔵賞が創設されました。これは、研究調査発表会において講演が聴衆理解に優れていた講演者に対して表彰するもので、受賞者には賞状及び賞金が贈呈されます。